裾野麗峰山の会・山行報告書	文・井上　　写真・後藤
山行 NO.　１８６１－２	
日　時	２０２０年０４月１１日（土）晴れ（午後から曇り一時小雨）
山　域	西丹沢・椿丸（902m）
コース	長泉 6：30－旧浅瀬荘ゲート発 7：50－椿丸山頂（昼食）10：40～11：30－・８６２m峰－８５０m峰下降点－旧山神峠―吊り橋 14：20－大又沢 14：50－ゲート 15：00－丹沢湖畔東屋（すいとんで花見）－長泉 17：45（反省会なし）
標高差	上り　林道ゲート３５０m～椿丸９０２m＝約５５２m （予定内登り返し１６０m＋予定外１３０m＝累計標高差・上り計約８４２m 下り　同上
快適度	（５段階評価）５（ヤブはない）
参加者	後藤、加藤、星、井上＝４名

ロマンチックな山名に魅せられて

丹沢湖を西に曲がり、桜が見事な世附（よづく）川沿いに車を走らせ、世附林道終点に到着。釣り客の車が 10 台ほど停まっていた。7：50 スタート。しばらく行くと、薪を割っているオジサンがいた。ボランティアで釣り人の管理をしているそう。いろいろ教えてくれるが話が止まらないようなので、一緒に話を聞いていた単独の男性（注・１）に後を任せてこの場を脱出。

大又沢が世附川に合流する所に高さ 1.5mほどの石碑がある。（注・２）地図上で、登り口の目印になるので探していたが思ったより小さい。そこから登れそうな場所を探し登り始めた（標高約 380m）。急登で汗が出る。（注・３）

釣り人管理人

入渓者地図

・519 で一度緩やかになるが、またすぐ登り再開。まずは最初に判断が必要な場所の・780 を目指す。三椏（ミツマタ）は黄色い花が終わり、白い直径 3 センチほどの丸い球体を枝の先にいっぱいつけてあちこちに群生している。（注・４）

足元にはあちこちで双葉が出てきて、これから成長しますとその意思を表しているように力強い。山

桜が近くにも、遠くの山にも咲いていてきれい。いつも思うが、日本昔話の春の山の絵のよう。先週までの雪山シリーズとうって変わり、一気にのんびり春モード。鶯がじょうずになくので、加藤さんが大声でほめる。歩きながら、最近の COVID-19 について話し、政府自民党が行った４６６億円のあべのマスクについて批判し、政治談議にも花が咲いた。

椿丸のツバキ

・780 ピークで北東へ右折。ゆるやかにアップダウンを繰り返す。・795 手前で北北西へ左折。地図では等高線がそれほど密ではないので安心していると、実際に歩くと意外と角度があることが多い。地形図、コンパス、GPS を使い、小ピークで現在地を確認し、行く方向を決める。・838 の西で左折し・920 の椿丸頂上を目指す。（注・５）（注・６）

このあたりで、後藤さんと加藤さんの息の合ったかけあいが連発し、星さんと私は大爆笑。後藤さん「あ～腹減ったぁ！」、すかさず加藤さん「食べなぁ！」、すぐに後藤さん「やだよ！」。後藤さん「あ～ビール飲みたい！」、加藤さん「飲みなぁ！」、後藤さん「やだよ！」。加藤さん「私たち待ってるから二人であの山行きなぁ！」、後藤さん「やだよ！」。

この掛け合いは、お笑いの台本があるかのように繰り返され、実に息があっている。吉本新喜劇のお決まりのギャグを見ているようだった。最後尾の私が繰り返しまねするので、その前を行く星さんが大笑いし、力が入らなくなった。星さんがそのことを加藤さんに説明すると、今度は加藤さんまで大笑いしおなかを抱えた。二人は頂上まであとわずかの登りに脚に力が入らなくなったといい、立ち止まって

綺麗な尾根がつづく

しまった。こみあげる笑いを押さえてからようやく登り始めた。

10:40 笑顔のまま椿丸頂上(902m)到着。尾根の北東側の斜面の大きな樹木は切られて見晴らしがよくなっている。谷を挟んで反対側の山なみも、斜面の谷底まで息をのむ大パノラマが広がる。眼下には三椏の群生。正面は山桜。4 人はこのパノラマに向かって横に一列に並んで昼食を取った。（注・６）

いつものようにたくさんの料理がまわってくる。取り立ての玉ねぎにタケノコ。ウドに味噌をつけたこんにゃく。昨日、加藤さんと星さんは静岡の山奥のお茶農家を訪ね、珍しい黄金のお茶を手に入れていた。水筒のふたをコップにして、黄色の茶葉を入れお湯を注ぐ。数分待つと、ふたいっぱいまで茶葉

椿丸下

が広がった。何とも言えない渋みと甘みだった。茶葉は捨てるのはもったいないので全部食べた。

11:30 下山開始。細い尾根を緩やかに下る。ブナの木が枝を大きく広げる。ゆったりとした曲線が女性的で美しいと加藤さんが言った。反対に人工林の杉は男性的。早く高く太く成長することを求められ、軍隊のように等間隔に整列するその姿はまるで企業戦士。自然林の姿は余裕を感じる。根の形も千差万別。いろんな自然の造形を見せて楽しませてくれる。

下りも地形図、コンパス、GPS で現在位置を把握して、尾根を離れる下降点の 850mピークを見落とさないよう周囲の地形情報を議論しながら進む。無事、下降点を確定し左折し南下する。715m のコルが旧山神（さんじん）峠。（注・７）壊れた祠があり、よく見えないが何かが祀られていた。

ミツバツツジ

旧山神峠

旧三保山荘

事前にメールで送信されていた地図には、最終の下降ポイントは３つ想定されていた。一つ目は尾根から約 350m 下る。二つ目は約 230m 下る。三つ目は約 100m。初めの二つは、下りたところが道になっているが、最後の三つめは道に出る前に川がある。

後藤さんは一つ目より急な下りが短い二つ目が選んだ。H675m の小ピークから右折し南下する。200m ほど道なき急斜面を下るが、その先は更に急になり、おりられそうにない。登り返しを決断（この斜度は計算では 34.3 度だった。なかなかのものだ）。H675 m まで戻り主尾根を下る。H480m で右折南下。靴

古い吊り橋

を脱いで川を渡ることを覚悟した。やがて作業用と思われる道や階段が現れた。下まで降りると、壊れた家屋がある。旧三保山荘とのこと。（注・８） なんと世附川には吊り橋があった。しかし、中ほどは床板がなく、約２ｍの仮設工事用の金属の足場板一枚だけポンと置いてある。

残っている床板も抜けないか心配。一人ずつ慎重に渡った。足元に集中し、よそ見厳禁。渡ってみれば、向こう側の入り口はロープで塞がれ、見上げると使用禁止の看板表示。14:20　林道？作業用道路？ガードレールがまだつけられていない整備中の道を世附川沿いに歩く。途中 、大規模な土砂崩れで道が塞がっていた。14:50 登り口を通過。15:00 駐車場所に到着。ゴール。

丹沢湖沿いにソメイヨシノと枝垂桜がきれいな東屋があり、そこで加藤さんが自家製味噌のスイトンをごちそうしてくれた。そんなにおなかは減っていないと思ったがいくらでも食べられた。（注・９）

帰途、御殿場の富士霊園の桜がちょうどよい時期とのことで寄り道をすることになった。桜は見事に満開。御殿場在住の知り合いがレストランに務めているので会いに行ったが、レストランは 15:30 に終了していた。霊園が 17:00 に閉鎖されると聞き、16:45 にあわてて出た。霊園出口の一時停止を見落としそのまま道路にでてしまったら、右からホンダシビックが急停車した。そのあと、そのシビックは追いかけてきて文句を言っていたが、行ってしまった。

御殿場では雨が降っていたが、裾野に入って雨は止んだ。17:45 長泉着。歩き始めに単独の男性が一人いただけで山では誰にも会わなかった。山は春爛漫。鹿や猪の糞が多く、動物の生活圏にお邪魔している気分だった。世は、新型コロナウイルスのため家にいるように言われている。

山は、密集、密閉、密接がない。長時間、脚の筋肉を鍛え、息を切らせて肺と心臓を鍛え、早起きし早く寝る。（ついでに内側からアルコール消毒をしっかりする。）病気にかかりにくい体を作りたい。それにしても笑った。

以上

その他の記述（後藤）

注・１

ここで会った青年は、昔、水ノ木沢方面にあった森林軌道跡を見に来た。・・・昔この地にはトロッコの森林軌道が二路線（大又線、水ノ木線）通っていた。木材の搬出を担ったそれらの軌道は昭和 41 年（1966）に撤去されている。オジサンの話では、旧浅瀬荘付近（ゲート付近）に木材集積場所があったという。　　参考「丹沢今昔」奥野幸道著
http://machimori.main.jp/details9336.html

注・２

石碑は高さ２ｍほど。右に大正四年？？左に小山町は読めた。真ん中は、一番上は梵字が書いてあったが以下は不明。ネットでも分からなかった。いずれにしても、この道は、私が持っている、「丹沢の山と谷」山と渓谷社　昭和３４年４月発行（定価１５０円）でも明神峠から小山町に抜けている。

注・３　椿丸・南尾根取りつきは、カーブミラーのところ。しっかりしたふみ跡がある。

注・４　南尾根下部には、山名になっている「やぶ椿」がたくさん咲いていた。

注・５　標高点・８３８峰西から、防火帯のような幅広登山道。

注・６　西丹沢にこんな素敵なロマンチックな山名があったとは知らなかった。

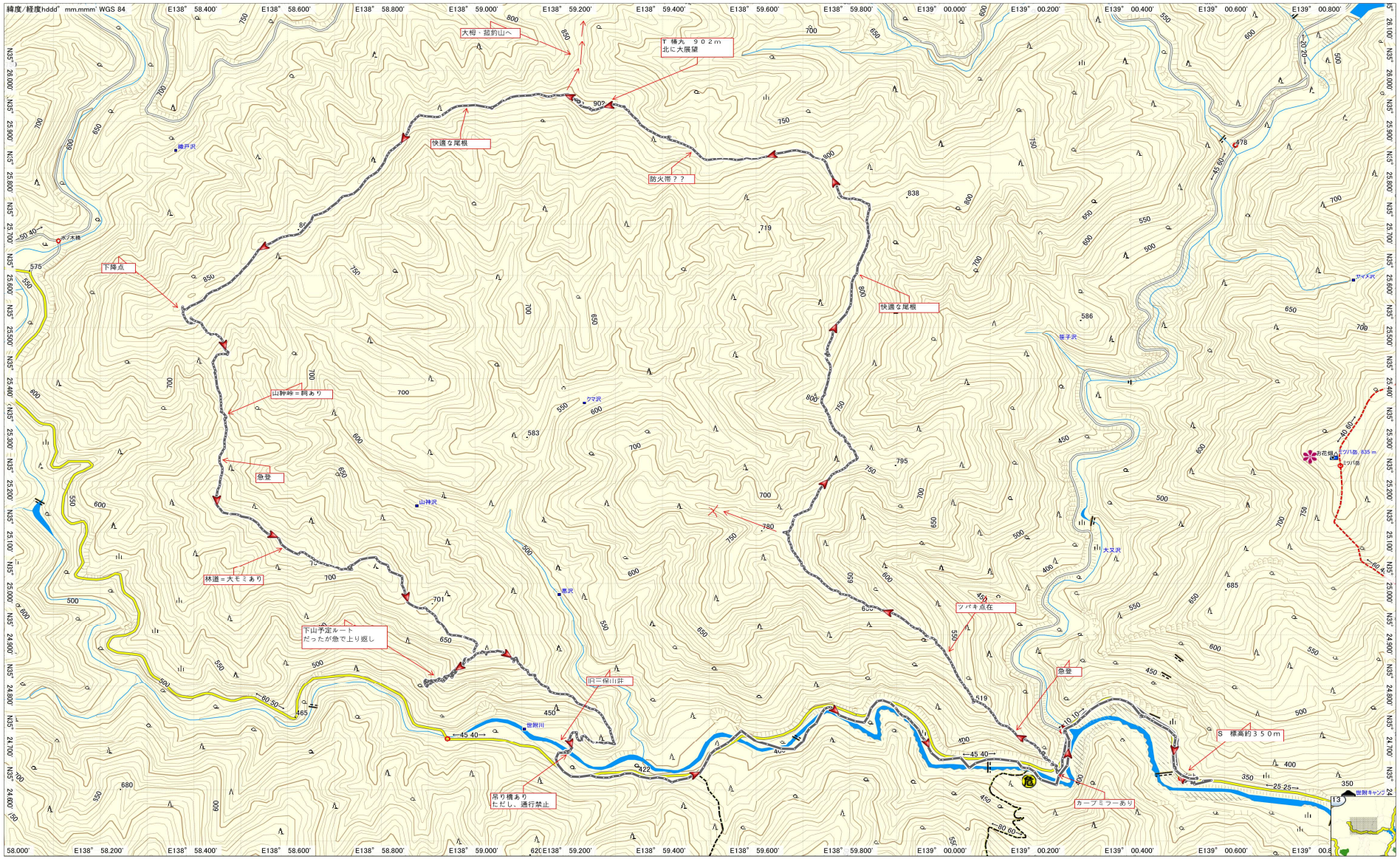
注・７　伐採地は人工林でなく自然林だった。展望が良いのは有り難いが、何故、自然林伐採か不明。展望は大栂・菰釣山・大室山・檜洞丸・丹沢山が見えた。大栂（・１２０４ｍ）行くか？もあったが、片道２時間は厳しい。

注・８　https://yamap.com/activities/1467798/article
https://open.mixi.jp/user/12844177/diary/1938701266　　祠は歴史的なもののようだ。

注・９　旧三保山荘は、本州製紙が使っていた。

注・10　湖畔にヤマハ・スクーターで来たアベックがいた。今時、二人スクーターで来るのは珍しい。コンロで湯を沸かし、温かいものを食べていた。微笑ましい光景でした。２０代後半の自身を思い出した。（バイクは寒くて大変です！！）

注・11.　　この日、下土狩の焼き鳥屋「三楽」は、閉店していた。☹


緯度/経度hddd° mm.mmm' WGS 84
大棚・茄釣山へ
T 楢丸　９０２ｍ
北に大展望
快適な尾根
防火帯？？
下降点
山神峠＝祠あり
急登
林道＝大モミあり
下山予定ルート
だったが急で上り返し
沢＝保川井
吊り橋あり
ただし、通行禁止
ツバキ点在
急登
カーブミラーあり
S 標高約３５０ｍ
お花畑入ミツバ岳, 935 m
ミツバ岳
世附キャンプ
Japan Topo 10M Plus V3
CanvasMaps Co. Ltd 2014
Garmin Corporation 1989-2014
2020/04/12 5:11:59
GARMIN.